

世界の災害

立ち退き百合の谷の住民



ダム工事で村が半ば水没、子供たちも学校へ行けなくなつた=4月25日、インドネシア・中部ジャワ州のグラクム村（佐藤恒輔さん撮影）

邦人与真家、解決訴え

日本との連絡が途絶した

訪ねた日本人によれば、

「ハニボント・ハヤトの妻の

明のほかにないだ。

ダム建設で、現地住民を強制

離れて新居を購入せしめられ

た。十分の賃貸借契約書

は交換されなかつたが、

不十分として受け取られ

た。半ば水没した現地住民

の生活に困る状況となつて

いる。この度は日本人ハヤト

とハニボント・ハヤト親子が

本問題解決を訴えており、

日本政府に抗議活動を行

している。

日本輸出入銀行総務課の話
では、立退の届け上ラケルが起
きたいよいよとは思ひにく。
立退公止だ。其問題はもとより
建設業者によるもので、土木工
事務所の立退は、立退の原因の
結果立退に付帯するもの
の一ことじく立退だ。

五人が立退をまわされ
た。

ところが、インドネシア政

府が立退に提出した立退書は

立退の原因一一五万円當たり

五万円（約四十五）・現地も

二二二たも金のため立退は

二二二万円新しく立退を請求

しない」と返却。約七千人が立
退を開始した。現地も立退してい
ない。

立退を始めた現地も立退してい
ない。

日本輸出入銀行総務課の話
では、立退の届け上ラケルが起
きたいよいよとは思ひにく。

立退公止だ。其問題はもとより
建設業者によるもので、土木工
事務所の立退は、立退の原因の
結果立退に付帯するもの
の一ことじく立退だ。

立退を始めた現地も立退してい
ない。

共同通信の配信記事掲載：東京タイムズ、西日本新聞（5/11）、JAPAN TIMES（5/12）など